東京湾再生官民連携フォーラム
令和５年度事業報告

令和６年３月

東京湾再生官民連携フォーラム

内 容

Ⅰ．事業期間 4

Ⅱ．主な事業項目 4

1. 一般財団法人セブン-イレブン記念財団との基本協定書　2022 年度～2024 年度協定書の締結 4

2. 政策提案の実施　-東京湾再生のための行動計画（第三期）にむけての活動- 4

3. 交流・連携事業の実施 4

4. 東京湾再生官民連携フォーラム　企画運営委員会の開催 4

5. 東京湾再生官民連携フォーラム　令和 5 年度通常総会の開催 4

6. 海ごみ・プラスチックゴミクリーンアップ活動の実施 4

7. プロジェクトチームの活動 4

8. 東京湾大感謝祭 2023 の開催 4

9. 会員団体、関連団体事業との東京湾再生官民連携フォーラムの協力、後援・協賛等の実施 5

10. 東京湾の日・10 月 1 日 PR 活動 5

Ⅲ．事業実施経過と成果 5

1. 一般財団法人セブン-イレブン記念財団との基本協定書 5

2. 東京湾再生のための行動計画（第三期）にむけての活動 5

3．交流・連携事業の実施 5

3.1「生物多様性のための 30BY30 アライアンス」参加登録 5

3.2 令和 5 年度　感謝祭編ＣＳＲ－ＮＰＯ未来交流会 5

3.3「10 月 1 日・東京湾の日」 第 3 回　川柳&PHOTO コンテストの実施 7

3.4.東京湾大感謝祭 2023 開催支援の実施 9

3-5.ＰＴ連携の推進 9

3.-6 交流参加活動交流参加活動 10

4. 東京湾再生官民連携フォーラム　企画運営委員会の開催 10

5. 東京湾再生官民連携フォーラム　令和 5 年度第 11 回通常総会の開催 12

6. 海ごみ・プラスチックゴミクリーンアップ活動の実施 14
7. プロジェクトチーム（PT）の活動..... 15
1）生き物生息場つくりＰＴ：（佐々木 PT 長） 15
2）東京湾再生のための行動計画の指標の活用ＰＴ：（岡田 PT 長） 16
3）モニタリング推進ＰＴ：(古川 PT 長)..... 17
4）江戸前ブランド育成ＰＴ： (牧野 PT 長) 18
5）東京湾の窓ＰＴ（芝原 PT 長)..... 18
6）多摩川河口干潟ワイズユースＰＴ（竹山 PT 長） 18
7）東京湾大感謝祭デザインチーム（東京湾大感謝祭 2023 実行委員会） 18
8. 東京湾再生官民連携フォーラム 共催、後援、協賛、協力等の実施..... 21
9. 東京湾の日・10 月 1 日 PR 活動 22
10. 会員募集・広報活動..... 23
10.1 東京湾 NEWS-LETTER 配信 23
10.2 会員募集 27
10.3 東京湾/フォーラム活動の紹介・各地への情報発信 28
11. 東京湾再生官民連携フォーラム 政策提案..... 33

Ⅰ．事業期間

令和５年（2023）４月１日（金)～ 令和６年（2024）３月 31 日(日)

令和５年度は、東京湾再生のための行動計画（第三期）のスタートにあたる。これに伴い、第二期の成果と反省を踏まえつつ、第三期にむけた検討・議論が各 PT で始まっている。

期を同じくして、新体制東京湾の再生・感謝祭デザインチームでは、東京湾大感謝祭 2023 を、横浜市役所アトリウムに変更して、会場、体制等も新たに開始した。

Ⅱ．主な事業項目

主な活動事業項目は以下の通り。

1. 一般財団法人セブン-イレブン記念財団との基本協定書　2022 年度～2024 年度協定書の締結

2. 政策提案の実施　-東京湾再生のための行動計画（第三期）にむけての活動-

2-1. 東京湾再生行動計画（第三期）の指標に関する提案の実施

3. 交流・連携事業の実施

3-1.令和５年 10 月 14・15 日感謝祭編「ＣＳＲ-ＮＰＯ未来交流会」-海の相談コーナーの開催

3-2.「10 月１日・東京湾の日」 第３回　川柳&photo コンテストの実施

3-3.東京湾大感謝祭 2023 の開催

3-4.PT 連携の推進

浦安三番瀬を大切にする会主催、浦安市共催、東京湾再生官民連携フォーラム後援

東京湾シンポジウム　後援等

3-5.交流参加活動

(一財)セブン-イレブン記念財団主催　ウェブセミナー「「森・里・川・海、人と人をつなぐ 脱炭素・生物多様性フォーラム」」に参加

開催日時：2024 年　２月 15 日（木）

４．東京湾再生官民連携フォーラム　企画運営委員会の開催

企画運営委員会は、年３回の実施。対面と Zoom を併用。

５．東京湾再生官民連携フォーラム　令和５年度通常総会の開催

東京湾の日に合わせて令和５年９月 30 日、Zoom 利用による総会の開催。令和４年度活動報告及び令和５年度活動計画、プロジェクトチームの活動報告政策提案の承認等

６．海ごみ・プラスチックゴミクリーンアップ活動の実施

浦安三番瀬を大切にする会、DEXTEC など　クリーンアップ活動支援

７．プロジェクトチームの活動

PT ごとにミッションに対する議論、成果、今後の課題を検討。第三期に向けて具体的な活動の検討を図る。

８．東京湾大感謝祭 2023 の開催

東京湾大感謝祭 2023 は、10 月 14 日～10 月 15 日の期間実施。会場を横浜市役所アトリウムして開催した。

９．会員団体、関連団体事業との東京湾再生官民連携フォーラムの協力、後援・協賛等の実施

10. 東京湾の日・10 月 1 日 PR 活動

Ⅲ．事業実施経過と成果

1．一般財団法人セブン-イレブン記念財団との基本協定書

2022 年度～2024 年度協定書の締結。3 年間の協力を定めた。

2. 東京湾再生のための行動計画（第三期）にむけての活動

・PT 活動について

第三期においては、PT のミッション終了をもって解散 PT があり、指標活用 PT のミッション終了、第三期に向けての新設 PT としての指標 PT の立ち上げ等もあり、新しく第三期を意識しての議論、具体的な活動への結びつきが徐々にではあるが進展している。・広報 PR についての取り組み企画運営委員会の基に、二つのチームを立ち上げ、今までの実績を踏まえて、さらに第三期の副題をとらえて、イベントの訴求力を高め、PR の手法等の検討を図っていく活動を実施している。

①東京湾大感謝祭を企画・運営実施する

「東京湾再生・感謝祭デザインチーム」の設置

②フォーラムのミッションとなる東京湾の再生に関しての PR を検討する

「広報コミュニケーションチーム」の設置

３．交流・連携事業の実施

3.1「生物多様性のための 30by30 アライアンス」参加登録

2030 年までに陸と海の 30%以上を保全する目標が設定されている。フォーラムは、30by30 の実現に向けた具体的なアクションとして「保護地域の拡大を目指す、拡大を支援する、管理の充実を図る」など、まずは手の届く範囲での活動を図っていく。

3.2 令和 5 年度　感謝祭編ＣＳＲ－ＮＰＯ未来交流会

2023 年は、東京湾大感謝祭と同時開催した。その際形式を変更し、当日の会場ステージにおいては、東京湾の海の様子がわかるプレゼンを会員 PT から行い、感謝祭展示会場においては、「海の相談コーナー」ブースを設けた。

日ごろから東京湾の疑問に感じていることを感謝祭 2023 のブースにて、疑問に応える形式を採用した。ブースでの受け応えには、來生議長、田久保企画運営委員、片所講師等が行った。

＜海の相談コーナーQ&A＞

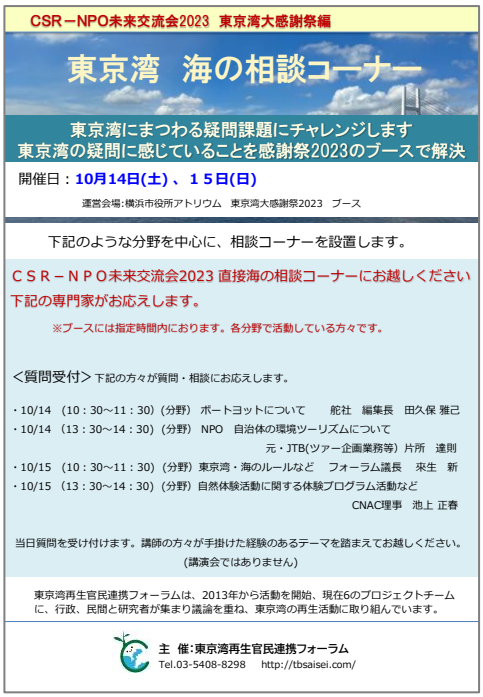
＜Q＞

浮桟橋にたくさんのサンゴが自然発生的に生息していることを偶然発見し、研究開発、環境活動に着手した。継続的にこのような活動をしていくには、ある段階で地域にお任せすることが必要になってくるのではないか、との議論が出ている。長崎県鷹島町を例に、活動の主体を地域団体に移行していくには、弊社としてはどのような活動をしたらいいのかを知りたい。

＜A＞

受け応え担当：片所 達則（分野：NPO　自治体の環境ツーリズム）

環境体験の地域の関係者のＮＰＯ、宿泊、マリンスポーツの事業者は、小さな組織が多いので、資金、マンパワーが不足している。１回の開催ではなく、環境体験ツアーを継続的にできるようにする仕組づくり（産学官）をする必要がある。そのためには、環境体験ツアーの価値を該当する県や市等の自治体（官サイド）の窓口に相談して、地域にあった枠組みを作ると良い。また同時に、若いまちづくりのリーダーの動きは、SNS でオープンに発信しているので、地域内外の人的ネットワークを把握しておくと良い。


CSR－NPO未来交流会2023　東京湾大感謝祭編

東京湾　海の相談コーナー

東京湾にまつわる疑問課題にチャレンジします
東京湾の疑問に感じていることを感謝祭2023のブースで解決

開催日：10月14日(土)、１５日(日)

運営会場:横浜市役所アトリウム　東京湾大感謝祭2023　ブース

下記のような分野を中心に、相談コーナーを設置します。

ＣＳＲ－ＮＰＯ未来交流会2023 直接海の相談コーナーにお越しください
下記の専門家がお応えします。

※ブースには指定時間内におります。各分野で活動している方々です。

＜質問受付＞ 下記の方々が質問・相談にお応えします。

・10/14 （10：30～11：30）（分野） ポートヨットについて　舵社　編集長　田久保 雅己
・10/14 （13：30～14：30）（分野） NPO　自治体の環境ツーリズムについて
元・JTB(ツアー企画業務等）片所　達則
・10/15 （10：30～11：30）（分野）東京湾・海のルールなど　フォーラム議長　來生　新
・10/15 （13：30～14：30）（分野）自然体験活動に関する体験プログラム活動など
CNAC理事　池上 正春

当日質問を受け付けます。講師の方々が手掛けた経験のあるテーマを踏まえてお越しください。
(講演会ではありません)

東京湾再生官民連携フォーラムは、2013年から活動を開始、現在6のプロジェクトチームに、行政、民間と研究者が集まり議論を重ね、東京湾の再生活動に取り組んでいます。

主 催:東京湾再生官民連携フォーラム
Tel.03-5408-8298　http://tbsaisei.com/

自治体の中で有望な市場は、教育の部局である。大きくは、小学校や中学校の特別学習のプログラムの中に入れてもらうこと、もう一つは自治体がやっている市民向け生涯学習（主なターゲットは、子育てを終えた主婦や定年後のシルバー）の中に入れてもらうのが、継続性が高い。

最初の導入で年間プログラムに入れてもらうのは難しいので、まずは環境の日や海の日などのピンポイントで試験的に体験ツアーをやってみると良い。その際は、地域の TV メディア等の取材を同時にアプローチして、その素材を自治体への説明ツールとして、社内では一般の生活者に社名を知ってもらう PR 価値として CSR の必要性を説得していくと良い。（予め折衝し、有料でも小額なら PR 素材として版権を買い取ると良い。技術系の会社の説明は、一般の人には難しい点が多い。）

海の相談コーナー　講師による相談の様子

海の相談コーナー

感謝祭編ＣＳＲ－ＮＰＯ未来交流会　パネル展示

3.3　「10 月 1 日・東京湾の日」 第 3 回　川柳&photo コンテストの実施

今年も企画運営委員、関係者のみなさまの協力をいただき、「東京湾の日・10 月 1 日」の PR に寄せて、東京湾をテーマとして、東京湾の日・第 3 回川柳＆photo コンテストの応募 作品を募集した。

募集期間は、6 月 1 日～8 月 31 日、応募テーマ：「東京湾再生のためにみんなで東京湾の魅力を発見しよう！」、入賞作品には、表彰状と記念品を贈呈する。第一次審査、二次審査、三次の最終審査を経て、9 月 27 日(水)に、審査決定を行った。

入選対象者の内、大賞の受賞者を官民連携フォーラム第 11 回通常総会において発表した。

また HP において公表している。

有効応募総数：川柳（一般、キッズ）・519 句(内キッズ 9 句) ：Photo・29 点

＜川柳審査委員＞

審査委員長：稲田 眸子 いなだ・ぼうし 本名（勉）/あらくさ句会指導講師/ 平成９年、俳誌「少年」を創刊･主宰

審査委員：來生 新 東京湾再生官民連携フォーラム 議長

審査委員：大浦 佳代 東京湾再生官民連携フォーラム 監事

＜川柳審査について＞

■一次審査 9/5~9/10 一次選考：稲田審査委員長 來生審査委員、大浦審査委員により、各 50 作品までの選考

■二次審査 9/11~9/15 二次選考：企画運営委員 33 名による選考 順位づけ(105 作品を委員に提示)

■三次審査 9/20~9/22 三次選考：（最終）企画運営委員の結果を事務局で加重配点して、その結果を事務局から 稲田審査委員長にお伝えし、最終審査となります。審査委員長による最終決定。選考 10 作 品に対する短評の実施。

＜Photo 審査委員＞

審査委員長：田久保 雅己 舵社 編集長 海のライフスタイルマガジン Sea Dream 他 多数の雑誌編集審査委員：伊勢 勉 国土交通省 関東地方整備局 事業継続計画官 ＜Photo 審査について＞ 委員 2 名による順位付け、加点方式により評価、委員長最終審査

「10 月 1 日は東京湾の日」川柳コンテスト 入賞句の選評 選評

審査委員長:稲田 眸子(いなだ・ぼうし)

「東京湾の日」を飾るにふさわしい力作揃いであった。「東京湾の日」大賞、秀作、佳作について選評している。選評者は、審査委員長で選句にあたっては「ユーモア感覚が表現されているか」「日常の喜怒哀楽が表現されているか」「社会風刺が表現されているか」「東京湾のテーマが表現されているか」「選者の心に響く作品か」等をポイントとした。 記念品贈呈対象者は、「東京湾の日・大賞」川柳 1 名)、秀作 3 作品、佳作 6 作品の合計 10 作品

＜入賞作品＞

◎東京湾の日・大賞	いつの間にきれいになった妻と湾	綾部 保知 氏 茨城県
◎秀作 3 句	江戸前でたかいたかいを孫ねだる	桑原 陸 氏 大阪府
	恋愛の悩みもアジもさばく母	石畝 秀高 氏 滋賀県
	江戸前の通に見せかけ値に頭痛	青木 知恵 氏 東京都
◎佳作 6 句	東京湾オンリー湾でナンバー湾	伊藤 雅紀 氏 静岡県
	屋形船三年振りの笑タイム	早雲 まり子 氏 茨城県
	初デート江戸前寿司で目が泳ぐ	小松 真人 氏 大阪府
	また釣れて魚図鑑とにらめっこ	梶 政幸 氏 千葉県
	「あげとくれ」花火てんぷら屋形船	新家 益一 氏 愛媛県
	江戸前は活きと活気の二刀流	岸 保宏 氏 埼玉県

◎キッズ大賞１名 該当無し

Photo コンテスト結果<大賞> 鈴木 克哉 氏　　神奈川県 浜金谷港

<秀作>　木村　尚　氏　神奈川県　盤洲干潟

<佳作>　陳　峻冬　氏　千葉県　富津岬

3.4.東京湾大感謝祭 2023 開催支援の実施

10/14.10/15 の両日、初めて横浜市役所アトリウム会場を利用し、東京湾大感謝祭 2023 を開催した。月一度の実行委員会開催のサポートを行うとともに、フォーラム PT の出展、ステージでのプレゼンテーション、フォーラム会員の活動展示等を応援した。また、2023 年度から 2 年間、フォーラムの感謝祭デザインチームが主体となり東京湾大感謝祭の運営・実施を行った。これにともない官民連携フォーラム事務局がサポートを実施した。

3-5. ＰＴ連携の推進

(1) 浦安三番瀬を大切にする会主催、浦安市共催する「市民大学公開講座」を東京湾再生官民連携フォーラムが後援した。下記の 2 回に分けた市民講座となっている。

・2023 年 1 月 29 日(日)開催「江戸前講座～江戸前ってなあに？」

・2023 年 2 月 19 日(日)開催「江戸前フォーラム～江戸前の海を伝える」

(2)東京湾窓 PT のアウトリーチ活動・交流支援

Facebook「ぐるっと東京湾！自然と魅力のワクワク情報」について

参加サイト　https://www.facebook.com/groups/tokyowaninfo の紹介

主　催：東京湾の窓 プロジェクトチーム

後援協力：東京湾再生官民連フォーラム（助成：一般財団法人みなと総合研究財団）

公開グループメンバー369 人による参加情報共有

＜Facebook ページの活動主旨＞

東京湾沿岸の様々な学習施設やスタッフ、関係者から東京湾の自然や歴史などの魅力情報が集まる。ここで紹介されるいろいろな情報が共有されることで、東京湾の魅力が多くの人が伝わり、東京湾好きな人が増えることを願っている。

運営は、東京湾官民連携フォーラム内の東京湾の窓プロジェクトチームが行っている。

3.-6 交流参加活動交流参加活動

9 月 13 日（水）、セブン-イレブン記念財団主催の助成制度セミナーに Zoom で参加した。

社会福祉法人 大阪ボランティア協会の常務理事・事務局長、永井　美佳様より「未来へつなぎたい自然環境・生物多様性～楽しみながらつづける・ひろげる～」というテーマで基調講がありました。

・ZOOM:ウェビナー

・参加費：無料

■助成制度説明会：全 6 団体の助成制度を紹介！

・公益財団法人 コメリ緑育成財団「コメリ緑資金」

・TOTO 株式会社「TOTO 水環境基金」

・独立行政法人 環境再生保全機構「地球環境基金」

・公益財団法人 自然保護助成基金「プロ・ナトゥーラ・ファンド助成」

・ラッシュジャパン合同会社「LUSH チャリティバンク」

・一般財団法人 セブン-イレブン記念財団「環境市民活動助成」

■基調講演：「楽しみながら継続する環境市民活動のヒントに♪環境市民活動についてなにかお困りごとはございませんか？」

「未来へつなぎたい自然環境・生物多様性～楽しみながらつづける・ひろげる～」をテーマに、市民活動の歴史に詳しい永井 美佳さん（大阪ボランティア協会 常務理事・事務局長）の基調講演を実施。

４．東京湾再生官民連携フォーラム　企画運営委員会の開催

令和５年度　第１回企画運営委員会

１．開催日時　令和５年５月 31 日(水)　13：30-15：00

２．開催場所　財団法人みなと総合研究財団　３階会議室

（東京都港区虎ノ門 3-1-10　3F）　web 参加者も含むハイブリッド開催

３．議事次第

«審議事項»

（１）フォーラム令和４年度事業報告（案）、決算（案）及び監査結果について

（２）東京湾大感謝祭 2023 開催(案)について

«審議結果»

（１）審議１　フォーラム令和４年度事業報告（案）、決算（案）及び監査結果は承認された。

（２）審議２　東京湾大感謝祭 2023 開催(案)は、承認された。

«報告事項»

（１）ＰＴ活動報告

（２）「生物多様性のための 30by30 アライアンス」参加登録報告

（３）東京湾等の再生に向けた新たなマッチングイベント開催に向けた CSR-NPO 未来交流会（感謝祭 2023 マッチング編）について

（４）広報：東京湾の日、第３回川柳＆photo コンテスト募集について

令和５年度　第２回企画運営委員会

１．開催日時　令和５年９月６日(水)　　15：00～16：30

２．開催場所　財団法人みなと総合研究財団　３階会議室

（東京都港区虎ノ門 3-1-10　3F）　web 参加者も含むハイブリッド開催

３．議事次第

«審議事項»

（１）政策提案　（第三期）指標についての政策提案（案）

（２）令和５年度総会議事次第（案）について

（３）企画運営委員会 委員の選任及び企画運営委員長の選出について

«審議結果»

（１）審議１　政策提案　（第三期）指標についての政策提案（案）は承認された。

（２）審議２　令和５年度総会議事次第（案）について承認された。

（３）企画運営委員会 委員及び企画運営委員長・來生新が選出された。

«報告事項»

（１）ＰＴ活動報告

（２）令和４年度　決算・監査修正報告

（３）東京湾大感謝祭 2023 開催(案) /（感謝祭 2023 マッチング編・CSR-NPO 未来交流会）について

（４）広報：東京湾の日、第３回川柳＆photo コンテストについて

（５）冊子「東京湾の未来へ 2013-2032」の配布について（冊子を活用した寄附のお願い）

令和５年度　第３回企画運営委員会

１．開催日時　令和６年３月６日(水)　　13：30～15：00

２．開催場所　AP 虎ノ門　B ルーム　AP 虎ノ門　B ルーム　Zoom 利用による会議　（一部対面参加）

«審議事項»

（１）フォーラム令和６年度事業計画・予算（案）

（２）令和６年度フォーラム第 12 回通常総会開催（案）

（3-1）東京湾大感謝祭 2023 事業報告（案）

（3-2）東京湾大感謝祭 2023 収支報告（案）

（4-1）東京湾大感謝祭 2024 実施・予算 計画 (案)

（4-2）東京湾大感謝祭 2024 実行委員会スタッフ＆参加メンバー(案)

«審議結果»

（１）審議１　フォーラム令和６年度事業計画・予算（案）は承認された。

（２）審議２　令和６年度フォーラム第 12 回通常総会開催（案）について承認された。

（３）審議 3-1 東京湾大感謝祭 2023 事業報告、3-2 東京湾大感謝祭 2023 収支報告は承認された。

（４）審議 4-1 東京湾大感謝祭 2024 実施・予算 計画 (案)、4-2 東京湾大感謝祭 2024 実行委員会スタッフ＆参加メンバーは承認された。

«報告事項»

（１）ＰＴ活動報告

（２）フォーラム令和５年度事業報告（案）

5.東京湾再生官民連携フォーラム　令和５年度第 11 回通常総会の開催

東京湾再生官民連携フォーラムは、9 月30日（土）10：30～12：00 web コミュニケーションツール Zoom を利用した通常総会を開催した。 今年は、新型コロナウイルスもインフルエンザレベル扱いとなり、プロジェクトチームの屋外活動が積極的行われた。

第 11 回通常総会は、議事次第案が審議・承認され議事が進められた。 総会議長役には フォーラム來生議長が選出され、議事進行が行われた。議事録著名人には、池上正春様、田中ゆう子様が選出された。

第二号議案「東京湾再生行動計画（第三期）に係る指標 PT からの指標に関する提案」については、事務局からは、提案までの経過説明、要旨が説明された。岡田ＰＴ長より意見照会の対応を含めて、詳細な説明がおこなわれた。

総会運営会場の様子：向かって手前左側　來生議長、手前右側　岡田指標ＰＴ長
（みなと総研会議室３F）一部会員参加の対面、Zoom 併用による総会

第二号議案、第三号議案が審議されそれぞれ承認された。

報告議題では事務局より令和 4 年度活動報告及び令和 5 年度活動計画、各ＰＴ長からは、個々のＰＴ年間活報告が行われた。今年からフォーラム組織内に「東京湾再生・感謝祭デザインチーム」を発足し、運営・実施する東京湾大感謝祭開催については、フォーラム事務局より開催説明を行った。

さらに事務局から報告事項として、フォーラム冊子　〝東京湾の未来へ 2013-2032〟　活用について、説明が行われ、冊子の無料配布と共に寄附の呼びかけの説明をおこなった。

今年も引き続き、「東京湾の日・第 3 回川柳 &phot コンテスト」の実施を行い、応募作品 川柳 519 句、photo29 作品の応募の中から大賞作品を総会で発表した。

令和５年度第 11 回通常総会

日　時：令和５年９月 30 日（土）10：30～12：00

会　場：Zoom による会員参加リモート総会、一部運営会場参加

（運営会場事務局：みなと総研　3F 会議室）

議事次第

１．開会

２．議長挨拶

東京湾再生官民連携フォーラム議長　來生　新

３．議事

（１）総会議長選出

（２）議題の採択　第一号議案　（審議資料 -1）

（３）議事録署名人の選出

（４）報告議題

(4)-1 令和４年度活動報告及び令和５年度活動計画

①令和４年度事業報告及び決算報告について

②令和５年度事業計画及び予算について

(4)-2 プロジェクトチームの活動報告について

（５）審議議題

(5)-1 議題の採択　　第一号議案

(5)-2 東京湾再生推進会議への政策提案について　第二号議案

(5)-3 役員改選について（議長、監事２名）　　第三号議案

<審議結果>

第一号議案　事務局提案の議事次第案が審議され承認。

第二号議案　政策提案は、総会での総意として承認。

第三号議案　役員選出は、議長には來生新、監事は、風呂田利夫、大浦佳代を選出、承認。

（６）報告事項

(6)-1 東京湾大感謝祭開催について

(6)-2 フォーラム冊子　〝東京湾の未来へ 2013-2033〟 活用について

(6)-3「東京湾の日・第３回川柳 &phot コンテスト」について結果および表彰

４．閉会

６．海ごみ・プラスチックゴミクリーンアップ活動の実施

○ クリーンアップ活動を実施している会員の支援を図る。

1）昨年度に引き続き、ＤＥＸＴＥ－Ｋ（ディクテック）主催（西なぎさ発：東京里海エイド）の清掃）活動への後援、NPO 法人　との協力などの実施。

２）第５回　うらやす三番瀬感謝祭に参加

日時：2023 年６月４日(日)　9：30～13：00

海ゴミ、プラゴミのクリーンアップ活動

東京湾再生官民連携フォーラムは、第５回うらやす三番瀬感謝祭（浦安市日の出公園 3-2）に参加した。

感謝祭の当日は、心配していた天候も晴天に恵まれての活動となった。その様子を写真と共にみなさまに紹介いたします。写真１が最初の受付入り口付近になります。フォーラムのフラッグも掲げさせていただきました。

集合写真

写真　うらやす三番瀬感謝祭入口付近

7. プロジェクトチーム（PT）の活動

各 PT では、コロナ対応レベルがインフルエンザ並みとなりメンバーが集まっての活動がようやくできるようになってきた。活動を行ってきた。

1）生き物生息場つくりＰＴ：(佐々木 PT 長)

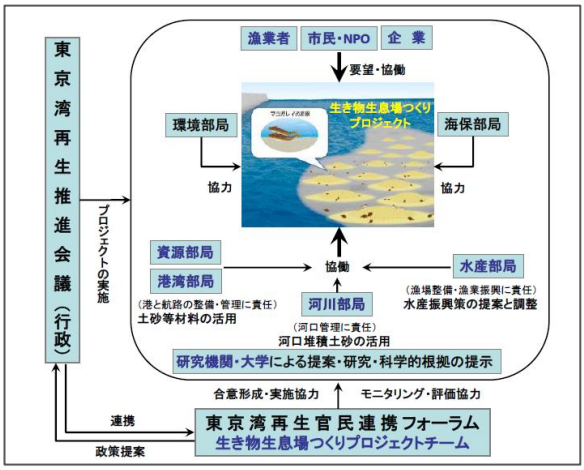
生き物生息場つくり PT のミッションとその活動は、「生態系サービスの強化に資する生き物生息場つくりの提案と社会実装の取り組み」を、「科学的かつ持続的な活動で推進する」ということをミッションとして行ってきている。

「生態系サービスの強化に資する生き物生息場つくりの提案と社会実装」の取り組みにおいては、

- 一つの部局では実現が困難なプロジェクトの発掘
- 市民・企業からの提案の発掘
- 企業・資源部局等の資源の活用

「科学的かつ持続的な活動の推進においては」、

- 科学的知見や理念の共有
- モニタリング・研究の実施
- マコガレイ産卵場調査，マコガレイ釣り調査活動の継続に注力してきた。



今年度は、下記に示す通り野外調査活動を中心に取り組んでいる。

2023 年　4 月 16 日（日）　習志野市茜浜海岸見学会
2023 年　7 月 3 日（月）　養老川河口干潟調査
2023 年 10 月 26 日（木）- 日（金）　PT 合宿調査@富津（予定）
2023 年 12 月 26 日（火）　マコガレイ産卵場調査

2024 年　3 月 31 日 (日)　マコガレイ釣り調査
2024 年 10 月 13 日 (金)　東京湾シンポジウム　パネル展示
2024 年 10 月 14 日 (土)・15 日 (日) 東京湾大感謝祭　パネル展示
また、新たな政策提案の検討を開始している。

2023 年 4 月 16 日習志野市茜浜海岸見学会

2023 年 7 月 3 日養老川河口干潟見学会

2）東京湾再生のための行動計画の指標の活用ＰＴ：(岡田 PT 長)

第二期で活動してきた指標活用 PT は、解散し、第三期の移行を踏まえて、新たにチームメンバーの募集を行い「指標活用 PT」としてスタートした。R5 年 4 月 11 日にキックオフを行い、メンバー構成が大学・研究機関：4 人、市民・NPO：4 人、民間： 5 人、公官庁、13 人 、合計 26 人で開始された。4 月 11 日から 2 週間に 1 度（主に Web 会議） • 隔週火曜日 18 時－20 時に集中的な活発に指標に関する討議を実施してきた。

結果として、「東京湾再生行動計画（第三期）に係る指標 PT からの指標に関する提案」「東京湾再生のための行動計画（第三期）の指標に関する提案解説書(参考資料)」を作成した。

指標は下記に示す 7 つにわたり検討された。

指標	目標値
底層溶存酸素量（DO（底層））	増加傾向を示す
透明度	夏季において 1.5 m 以上の頻度が向上傾向を示す
全窒素（TN）,全リン（TP）	赤潮や貧酸素が発生する海域において減少傾向を示す
赤潮発生回数	減少傾向を示す
底生生物からみた環境保全度評価	向上傾向を示す
下水道対策による負荷量の削減量	増加傾向を示す
水遊び・環境学習イベントの開催数，参加者数，開催場所数	増加傾向を示す

※それぞれの指標は，行動計画（第三期）が定めた施策・プロジェクトと関連付けている。
(詳細は本報告書　最終項目に掲載)

3）モニタリング推進ＰＴ：(古川 PT 長)

正式には「東京湾環境モニタリングの推進ＰＴ」と称する。

東京湾の現状を把握し、その変化傾向や変化機構を探ることが再生の礎となるという重要性に鑑み、東京湾再生推進会議（以下、推進会議）と協働し、モニタリングの実施及び成果についての普及、啓発を推進することをミッションとして活動している。

令和５年度の活動ついて下記の通り。

（1） ＰＴ会合

・ 適宜メールベースで意見交換・情報伝達、必要に応じて会合開催

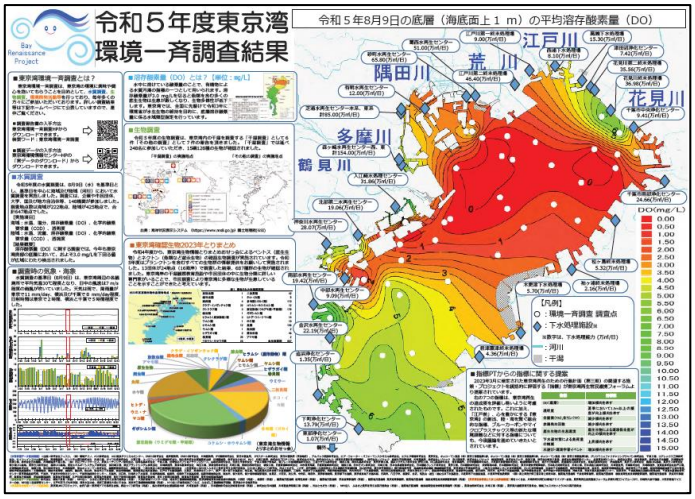
（2）東京湾環境一斉調査の実施

・ 東京湾再生推進会議モニタリング分科会と連携して実施（基準日：(8/9、水質調査）

・生物調査についてのテコ入れの実施

・おせっ会・東京湾の窓 PT 連携の調査研修（10/2：ふなばし三番瀬環境学習館）を行う。

調査結果を検討するワークショップを開催し、東京湾環境マップを作成している。



（3） 江戸前勉強会の実施・COAST Card 国際ワークショップ（11/19-21）に連動して実施。

４）江戸前ブランド育成ＰＴ： (牧野 PT 長)

＜活動方針＞

東京湾の水産物についてブランド価値を育成するためには、まずは東京湾の海の幸のことを知っていただき、食べていただくことこそが大切。各家庭の食卓と東京湾のつながりを日々の食生活のなかで取り戻し、また意識していただくことにより、人々の日々の行動の変化（東京湾の環境を考えたライフスタイルへの変化）を促し、それが結果的に東京湾の再生に直接的に貢献する（エコでおいしい江戸前、というブランド性）。

フォーラム HP からもバナーによるリンクがある。共有ページ

https://osakana.suisankai.or.jp/event/suisankai/7016

令和５年度の実施

・江戸前水産物を知り、体験していただくイベントを各地で実施している。

大日本水産会魚食普及推進センター、（一財）東京水産振興会　等

・東京湾大感謝祭でのステージプログラム、情報発信、などを実施

ステージプログラム「江戸前ってすごい！東京湾にいるモンスター」

５）東京湾の窓ＰＴ（芝原 PT 長)

●令和５年度の活動

・Facebook グループページ「ぐるっと東京湾！自然と魅力のワクワク情報」運営

・東京湾大感謝際（10/14・15）の出展・ステージプログラムの実施

・生物調査研修（10/2）の企画・実施

６）多摩川河口干潟ワイズユースＰＴ（竹山 PT 長）

＜令和５年度活動＞

・春季環境調査実施（3/24）

大師河原干潟館、大田区環境マイスター、東京都市大学、民間、:9 名・初夏環境調査実施（6/16）

大師河原干潟館、大田区環境マイスター、東京海洋大学、他

・R4 年度調査成果報告会開催予定（PT 内での報告会：１０月）

・東京湾大感謝祭

・秋調査（9 月末～10 月）

・冬季調査（1 月～2 月）

・春季調査（3 月～4 月）

・令和４ 年～5 年の調査結果整理

７）東京湾大感謝祭デザインチーム（東京湾大感謝祭 2023 実行委員会）

東京湾大感謝祭 2023 運営・実施を実行委員会形式で行うチーム。今年度の東京湾大感謝祭が新

しいスタートとなる。新しく「東京湾の魅力を発見しよう-みんなで東京湾の未来をつくろう」をキャッチコピーに実施した。

<開催概要>

◇イベント名：東京湾大感謝祭 2023

◇会 期：2023 年 10 月 14 日（土）～15 日（日） 10：00～17：00

◇会 場：横浜市役所アトリウム（みなとみらい線「馬車道」駅１C 出口直結）

◇入 場：無料

◇主 催：東京湾大感謝祭実行委員会

(実行委員長：山縣宣彦（一財）港湾空港総合技術センター理事長)

◇共 催：国土交通省関東地方整備局 、環境省、横浜市 、

東京湾再生官民連携フォーラム、（一財）みなと総合研究財団 、

東京湾の環境をよくするために行動する会

◇後 援：水産庁、 東京湾再生推進会議、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、

川崎市、千葉市、さいたま市、横須賀市

<開催規模>

・来場者数：3,800 名／2 日間

・出展者：36 社・企業、市民団体等（9 月 12 日時点）

・協賛者：8 社・団体 （9 月 12 日時点）

・取材：業界紙誌 2 社、日刊スポーツ ウェブ版掲載記事、日本テレビ ブルーカーボンプロジェクトサイト掲載

<横浜市役所アトリウム会場、東京湾大感謝祭 2023 開催結果>

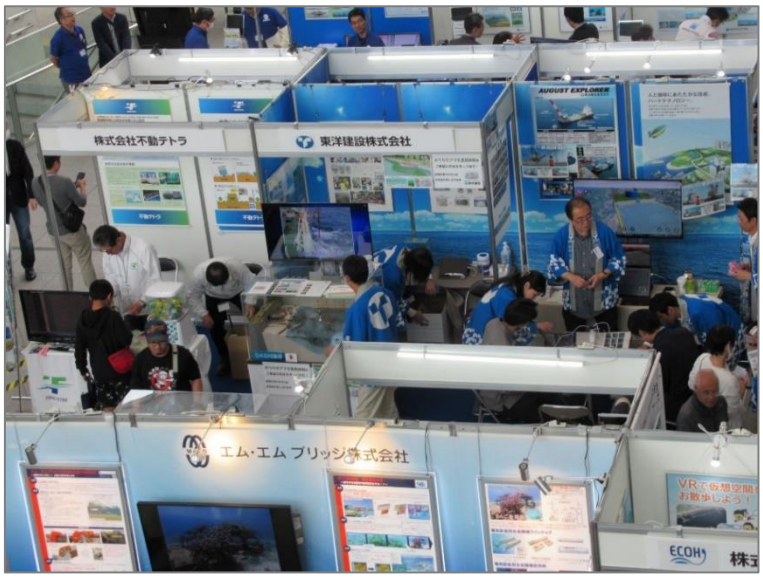
東京湾大感謝祭 2023 が、横浜市役所アトリウム会場・10 月 14 日、15 日に開催された。今年から実行委員長が交代して、新たに山縣実行委員長のもとでの実施となった。同時に、東京湾再生行動計画(第三期)が 2023 年にスタートし、副題には、～ 流域 3,000 万人の心を豊かにする「東京湾」の創出 ～を目指すことが発表されている。

東京湾大感謝祭 2023 では、「東京湾の魅力を発見しよう～みんなで東京湾の未来をつくろう～」のテーマを掲げて、感謝祭 2023 を開催した。流域 3,000 万人が暮らす東京湾は、近年、自然・社会環境の変化も大きく、海面温度の上昇あり、いまだに赤潮、青潮も発生し、貧酸素水塊も出現している。また、海洋汚染につながるプラスチックゴミも課題の一つとなっている。

反面、豊かさでは、さまざまな種類の魚介類が生息する豊かな東京湾の一面も見せている。

これからの東京湾の課題に取り組み、みんなで育てていき、次世代につなげられる東京湾の資源、恵みを意識する東京湾大感謝祭のスタートとなった。

会場展示ブース、ステージの様子を次ページに一部ご紹介する。



アトリウム展示会場ブース

ゆるキャラ＆PR キャラクターのステージ

東京 WONDER 下水道のステージ

赤い靴文化事業団・こどもミュージカルステージ

↑カーボンニュートラルポートについて
小学校 3 年生・瀬之上さんのステージ
（MC：古川 PT 長）

「海の相談コーナー」ブース　CNAC 体験活動

東京湾の窓 PT・展示会場ブース

8．東京湾再生官民連携フォーラム 共催、後援、協賛、協力等の実施

(1) 東京湾の窓 PT スタンプラリーの代替　(フォーラム後援)

Facebook「ぐるっと東京湾！自然と魅力のワクワク情報」 共催

主　催：東京湾の窓プロジェクトチーム

(2) 第 23 回東京湾シンポジウム 2022

～近年における東京湾の環境と今後の東京湾に向けた対策・方向性～

環境の現状や変化を踏まえて,「今後の東京湾に向けた対策・方向性」について, 施策, 水環境, 生態系, 水産等の幅広い観点からご講演。東京湾や閉鎖性内湾の環境研究の情報収集・交換, 交流の場として活用している。

主　催：国土交通省 国土技術政策総合研究所　（フォーラム後援)

日　時： 2023 年 10 月 13 日（金）　13 時 00 分～17 時 30 分

（ポスターセッション：～19 時 30 分）

場　所：横浜港大さん橋ホール

(3) ＤＥＸＴＥ－Ｋ（ディクテック）主催（西なぎさ発：東京里海エイド）への協力定期的に実施している葛西臨海公園・西なぎさの漂着ごみ等の清掃活動への協力。(フォーラム後援)

(4) 第５回「うらやす三番瀬感謝祭」＆映画上映会　（フォーラム後援)

主　催：浦安三番瀬クリーンアップ大作戦実行委員会

日　時：令和５年５月６日（土）映画「プラスチックストーリーぼくらの2050年」上映会

場　所：浦安市文化会館小ホール

日　時：令和５年６月４日（日）9：30～12：00　階段護岸とその周辺の清掃活動の実施

場所：浦安市日の出北公園・浦安日の出階段護岸・浦安市三番瀬海岸親水施設

(5) 第 12 回 東京湾海洋環境シンポジウム　(フォーラム協賛)

「東京湾の底生生物群集の衰退」

共同開催：東京湾海洋環境研究会，東邦大学理学部 東京湾生態系研究センター

日　時：2024 年 3 月 3 日（日）　13：00～17：00

場　所：東邦大学 理学部 5 号館 5101 番教室　習志野キャンパス

9．東京湾の日・10 月 1 日 PR 活動

東京湾大感謝祭と歩調を合わせて、みんなが東京湾を意識してもらう日「東京湾の日」10 月 1 日を設けた。この日を起点にしてまた締めくくりの日として、1 年間の活動の発表の場や連携活動してきた共通の日となるよう PR していく。

活動内容

・東京湾周辺に住んでいる、生活活動されている方々に向け、東京湾には多様な活動があることを見するそれぞれの生活者、組織・団体のための東京湾クリエイティブ DAY として、年に一度　東京湾に親しんでいただくための日。東京湾の未来を描く活動検討を行う。東京湾をテーマに第 3 回川柳＆photo コンテストの公募を行い合わせて東京湾の日の PR 活動を実施した。

東京湾の日ポスター

10.　会員募集・広報活動

10.1　東京湾 News-Letter 配信

東京湾-News Letter は、会員への情報提供として実施している。令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日

◇資料－1　会員メール配信　東京湾 News Letter

件数	配信日	内　容
1	04.04	(公財) 国際エメックスセンター、 令和 5 年度若手研究者活動支援制度助成金募集のお知らせ 公益財団法人国際エメックスセンターは、令和 2 年度より若手研究者活動支援制度を設置し、閉鎖性海域の環境保全および自然との持続可能な共生社会の構築に資することを目的とし、国際的かつ学術的な交流を推進し、調査研究の実施・活動に対する支援を行っています。
2	04.25	「第 5 回うらやす三番瀬感謝祭」及び関連イベント「映画上映会」 浦安三番瀬クリーンアップ大作戦実行委員会（委員長・今井　学）主催により「第 5 回うらやす三番瀬感謝祭」及び「映画上映会」が開催されます。
3	06.20	東京湾大感謝祭 2013　開催のご案内（告知版） 東京湾大感謝祭 2023 は、新体制の運営により、今年は下記の予定で、一般参加型の開催を実施いたします。 日時：10 月 14 日（土）、15 日（日）　会場：横浜市役所　アトリウム
4	06.21	10 月 1 日は東京湾の日,第 3 回川柳＆photo コンテストのご案内 10 月 1 日・東京湾の日を楽しい日となるようにみなさまから東京湾の魅力をテーマに第 3 回川柳＆photo コンテストの作品を大募集いたします。
5	06.28	東京湾大感謝祭 2023 出展・協賛のご案内 東京湾大感謝祭 2023 実行委員会（委員長：山縣　宣彦）は、2023 年 10 月 14 日、15 日に開催する東京湾大感謝祭の出展者の募集を開始いたします。
6	07.03	国際エメックスセンター、高校生海洋環境保全研究発表会　参加高校生募集 国際エメックスセンターは、 2～3 年に 1 度開催する世界閉鎖性海域環境保全会議（エメックス会議）で、高校生・大学生を対象とした青少年環境教育交流セッションを開催し、青少年による海洋環境保全に関する研究や活動を国内外に発信する取組みを行っている。
7	07.04	東京湾等の再生に向けた新たなマッチング交流会開催に向けたアンケートのお願い 様々な主体間のマッチングを図る交流会「ウミマッチ）」として、東京湾再生官民連携フォーラムでは、国土交通省の関東地方整備局とも連携のうえリアルな交流会を今年は企画検討しています。

8	07.04	令和５年度東京湾環境一斉調査　参加申し込みのご案内 令和 5 年度東京湾環境一斉調査の募集が開始された旨の連絡がありましたので 会員みなさまにお知らせいたします。
9	09.15	東京湾大感謝祭 2023 開催のご案内・プレス発表 会員の皆様が多くの市民や業界関係者、行政の活動、企業の活動の触れ合う交流の場として、皆様にご利用いただけるよう、さらに準備を進めてまいります。 たくさんの会員の方々のご参加をお待ちしています。 ＜開催概要＞ 日　時：2023 年 10 月 14 日（土）10：00～17：00 （オープニングセレモニーは 10：05～） 2023 年 10 月 15 日（日）10：00～17：00 場　所：横浜市役所アトリウム 主　催：東京湾大感謝祭実行委員会 共　催：国土交通省関東地方整備局、環境省、横浜市、 東京湾再生官民連携フォーラム、 一般財団法人みなと総合研究財団、 東京湾の環境をよくするために行動する会
10	09.21	国際アマモ・ブルーカーボンワークショップ 2023（Amamo2023）のお知らせ 新たなアマモ場再生ガイドラインを取りまとめることを目指して ワークショップが開催されます。 アマモ場を含むブルーカーボン生態系：（BC 生態系）について、 幅広く検討され、昨今の気候変動をはじめ、早急に取り組まなければならない課題が検討されます。 会員のみなさま、是非ご参加ください。 ＜開催概要＞ 開催日：2023 年 11 月 17 日（金）・18 日（土）・19 日（日） 開催方式,会場：（300 人収容、笹川平和財団国際会議場） ＋配信：（YouTube）のハイブリッド、会場での展示 主催：国際アマモ・ブルーカーボンワークショップ実行委員会： （海辺つくり研究会、金沢八景－東京湾アマモ場再生会議、 共存の森ネットワーク、ジャパンブルーエコノミー技術研究組合、 セブン-イレブン記念財団、笹川平和財団海洋政策研究所
11	10.08	東京湾大感謝祭 2023 開催のご案内 東京湾大感謝祭が 2023 年 10 月 14 日(土)、15 日(日）に開催いたします。 いよいよ迫ってきました。

		～東京湾の魅力を発見しよう-みんなで東京湾の未来をつくろう-～ がテーマです。会員のみなさまのご参加をお待ちしています。
12	10.19	東京湾大感謝祭 2023 ご協力の御礼とご報告 去る 2023.10.14-15 日に横浜市役所アトリウム会場にて、東京湾大感謝祭 2023 の開催にご協力いただきましてありがとうございます。 事故もなく、無事終了できました。15 日午前中は、大雨となり、途中心配しましたが、午後には、止み、晴れ間もみえ、多くの方々が会場を訪れていただきました。
13	10.19	CSR-NPO 未来交流 2023　感謝祭編ご報告 去る 2023.10.14-15 日に横浜市役所アトリウム会場にて、東京湾大感謝祭 2023 を行うとともに、会場内にて、対面で接するブースを設け、海の相談コーナーを開設しました。初めての試みとなり、講師の方々が直接対面でのアドバイスや相談を行うことができました。
14	10.19	全国アマモサミット in 福岡　開催のお知らせ 「全国アマモサミット」とは、「アマモ」と「アマモ場」を象徴的なキーワードとして、海の自然再生・保全を目指して毎年開催されている会議が福岡・博多港国際ターミナルで 10 月 20 日（金）～22 日（日）開催される。
15	12.08	フォーラム　江戸前ブランド育成 PT 早武忠利　著作『ハヤタケ先生の魚食大百科』刊行のお知らせ 魚食大百科は、子どもから大人まで手に取って楽しい書籍となっています。魚を知る楽しみが溢れています。
16	2024 01.18	今後の森の発展に向けて、（一財）セブン-イレブン記念財団によるフォーラム開催のご案内 （一財）セブン-イレブン記念財団は、『「人と自然が調和する持続可能な社会」を目指すために、日本全国の「セブンの森」「セブンの海の森」で活動する団体の皆さんが、自分たちの活動を発表し、今後の「森」の発展に向けての意見交換や長年にわたり森を守り、人を育て、その森と人をつなぐ活動を実践されてきたゲストをお迎えし、活動を続けるために必要な思いなどについて語る』
17	01.23	第 18 回 海の再生全国会議 in 大阪&第 1 回全国海の再生・ブルーインフラ賞授賞式のお知らせ 大阪湾再生の今、そしてこれから～湾再生を支える将来世代の育成を着実に進めるために必要なこと～と題して、主催：国土交通省　近畿地方整備局　第 18 回 海の再生全国会議 in 大阪が開催されます。 同時に主催：（一財）みなと総合研究所　第 1 回全国海の再生・ブルーインフラ賞授賞式が行われます。

18	01.29	フォーラム協賛・第 12 回 東京湾海洋環境シンポジウム「東京湾の底生生物群集の衰退」のご案内 今回は，東京湾の底生生物群集の衰退に関して，青潮といった既知の事例を始め，生態系を支える生産形態の長期変遷，プラスチックに関連した化学汚染などの話題提供と，市民活動や沿岸自治体の関連施設等が行っている調査を紹介し，情報共有を図るシンポジウムをご案内する。
19	02.19	特定非営利法人さざなみ（習志野の海を守る会）主催、官民連携フォーラム 生き物生息場つくり PT 後援による「第１回習志野環境フォーラム」開催 ３月２３日（土）14：00～、新習志野トーセイホテル＆セミナーにて、NPO 法人さざなみ主催の「第１回習志野環境フォーラム」が開催されます。 地域の歴史や環境保全に取り組む市民活動、最新の取り組みなどにご興味のある全ての方々が対象です。
20	03.27	みなと総研による「令和６年度未来のみなとづくり助成募集」のお知らせ みなと総研では、港や海辺を活動の拠点とする特定非営利活動法人や任意団体等、港湾の利用促進や港湾・海域環境の保全・再生等に関する調査研究を行う大学や研究機関、港湾の開発、利用、保全及び管理に関する業務を行う港湾協力団体の活動を支援する「令和６年度未来のみなとづくり助成　港・海辺活動／調査研究助成／港湾協力団体活動）」を実施する。

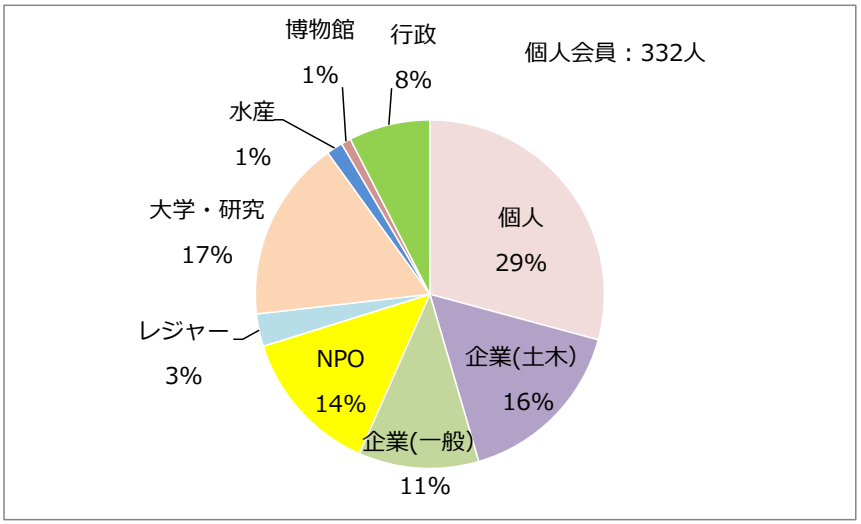
10.2 会員募集

会員募集の実施

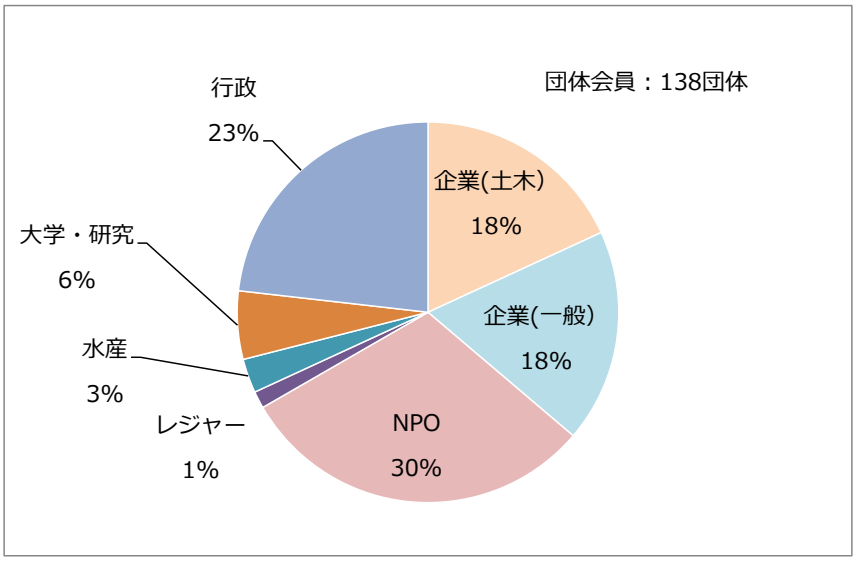
「東京湾再生官民連携フォーラム」の趣旨に賛同し、会への参加を希望し、会員への登録申し込み者。東京湾の再生にあたっては、東京湾に関わる企業、研究者、水産関係者、レジャー関係者、NPO、市民、行政等の多様な関係者が、その英知を出し合い、共に連携協働し、楽しみながら環境再生に取り組んでいる。賛同された会員の状況は下記のとおり。微増ながら毎年着実に会員が増加している。

（団体・個人会員数：令和 5 年 3 月 31 日）

個人会員　（単位：人、%）		
個人	97	29%
企業(土木)	54	16%
企業(一般)	37	11%
NPO	45	14%
レジャー	10	3%
大学・研究	56	17%
水産	5	2%
博物館	3	1%
行政	25	8%
合計	332	100%



団体会員　（単位：団体、%）		
企業(土木)	25	18%
企業(一般)	25	18%
NPO	42	30%
レジャー	2	1%
水産	4	3%
大学・研究	8	6%
行政	32	23%
合計	138	100%



10.3 東京湾/フォーラム活動の紹介・各地への情報発信

東京湾再生官民連携フォーラムの活動紹介や東京湾を題材にした情報提供活動の実施

（対象；講演会、セミナーシンポジウム、マスコミ媒体、書籍、雑誌（業界紙・学会誌等）など／出演した、インタビューを受けた、執筆した、記者が調査し記事にしたなど）

令和 5 年度　　PT 長、PT 活動

No	日時・講演名称 取材メディア名 書籍名など	テーマ(内容)	主体者	場　所
1	4 月 1 日～ Facebook グループページ	ぐるっと東京湾！自然と魅力のワクワク情報	東京湾の窓 PT	インターネット
2	4 月 10 日 UNU-IAS 特別講義	ICM/里海の考え方による海洋・沿岸域の賢い利用についての解説、ICM の事例として東京湾再生官民連携フォーラムを紹介	国連大学サステナビリティ高等研究所（UNU-IAS） 古川 PT 長	国連大学
3	4 月 16 日 習志野の海を守る会朝ミーティング	茜浜沖で進行中のマコガレイ産卵場の底質改善プロジェクトの概要	佐々木 PT 長	習志野市・新習志野公民館
4	5 月 16 日 豊海小学校特別授業	汽水域の環境の解説と、その再生にむけた取り組みを紹介	東京水産振興会、中央区立豊海小学校 古川 PT 長	豊海小学校
5	5 月 31 日 ウェブマガジン umito. の監修	ワカメは地球を救う！？の記事の監修、夢ワカメワークショップの紹介を通して、ブルーカーボンとしての役割を解説	マルハニチロ株式会社 古川 PT 長	ウェブサイトに記事掲載 https://umito.maruhanichiro.co.jp/article144/
6	6 月 8 日 うみ博	東京湾再生官民連携フォーラム・東京湾大感謝祭 PR 展示	東京湾再生官民連携フォーラム	横浜市アトリウム
7	6 月 20 日 みなと総研ウェブ講座海域環境コースでの講演	世界の海の新たなパラダイムの講演の中で、東京湾 UMI プロジェクトの意義・取組みを紹介	みなと総合研究財団、海域環境研究機構 古川 PT 長	オンライン配信

8	6月28日 SRI2023（国際会議）での発表	日本におけるCOAST Cardの挑戦と題して、東京湾の再生の取り組み、市民参画について、東京湾再生官民連携フォーラムを紹介	Future Earth、ベルモントフォーラム 古川PT長	オンライン配信
9	7月2日 ザ！鉄腕！DASH！！ （日本テレビ）	日本テレビ系列「THE！鉄腕！ダッシュ!!-ダッシュ海岸-」にレギュラー出演	木村尚	日本テレビ
10	8月24日 徳島大学環境防災Café講演	ブルーカーボン生態系の保全・再生と題して、東京湾におけるアマモ場再生、UMIプロジェクト、JBEのカーボンオフセット、夢ワカメワークショップを紹介	徳島大学環境防災研究センター 古川PT長	オンライン配信
11	8月26日 SDGsアクション キッズチャレンジでの講演	東京湾の恵みとハゼについてと題して、東京湾の環境変遷、再生に向けた取り組みを解説	東京新聞、東京水産振興会 古川PT長	豊海おさかなミュージアム
12	9月3日 日本湿地学会大会エクスカーション	首都圏の水の“要”－外郭放水路と江戸の小合溜（水元公園）を訪ねる	日本湿地学会 芝原PT長	首都圏外郭放水路～水元小合溜・水元公園
13	9月15日 水環境学会誌への掲載	東京湾環境一斉調査－官民連携の参加型調査の試み－と題して、モニタリングPTの活動、目指すところを解説	日本水環境学会 古川PT長	第46巻（A）第9号、pp.322-326.
14	9月16日 CNAC指導者養成セミナーでの講演	アマモ場再生事業の基礎知識として、東京湾におけるアマモ場再生の様子、東京湾UMIプロジェクトを紹介	海に学ぶ体験活動協議会（CNAC） 古川PT長	走水海岸
15	10月10日 浦安市市民活動センターだより「つ・な・ぐ」取材記事掲載	夏ボラプログラム「マハゼのすみか（釣り）境川調査」として市民団体と協働で実施している調査の意義を解説	浦安市市民活動センター 古川PT長	2023年10月10日発行、p. 2.

16	10 月 12 日 豊海小学校特別授業	汽水域の環境と生き物の解説として、一斉調査やマハゼの調査を紹介	東京水産振興会、中央区立豊海小学校 古川 PT 長	豊海小学校
17	10 月 13 日 東京湾シンポジウムでの講演	モニタリングから行動へと題して、モニタリング PT の活動の意義、狙いを解説	国土技術政策総合研究所 古川 PT 長	横浜港大桟橋ホール
18	10 月 13 日 第 23 回東京湾シンポジウム	ポスター出展「東京湾の窓施設にいこう！」	東京湾の窓 PT	横浜港 大さん橋国際客船ターミナル２F 大さん橋ホール
19	10 月 14 日 東京湾大感謝祭 2023	11 年目の「東京湾大感謝祭」横浜市役所で開催　釣ったタチウオもその場で料理	東京湾大感謝祭 2023 実行委員会 日刊スポーツ Web	日刊スポーツ Web
20	10 月 14-15 日 東京湾大感謝祭	東京湾大感謝祭	東京湾大感謝祭デザインチーム	横浜市役所アトリウム
21	10 月 14-15 日 東京湾大感謝祭	海の相談コーナー パネル展示	東京湾再生官民連携フォーラム	横浜市役所アトリウム・ワシントンホテル会議室
22	10 月 14－15 日 東京湾大感謝祭展示	モニタリング PT として、東京湾環境マップを配布、マハゼの粘土細工ワークショップを実施	東京湾大感謝祭 2023 実行委員会 古川 PT 長	
23	10 月 18 日 東京湾大感謝祭 2023	東京湾大感謝祭 2023 開催　港湾新聞　記事	東京湾大感謝祭 2023 実行委員会	港湾新聞
24	10 月 23 日 東京湾大感謝祭 2023	東京湾大感謝祭 2023 横浜市役所アトリウムで初開催　記事	東京湾大感謝祭 2023 実行委員会	港湾空港タイムス
25	11 月 17－19 日 Amamo2024 の主催、講演	会議全体を通して、沿岸域の環境再生のための連携（行政・漁業者・市民・若者・企業など）を訴え、東京湾における環境変遷、管理の体制を解説	国際アマモ・ブルーカーボンワークシップ（Amamo2024）実行委員会 古川 PT 長	SPF 国際会議場、オンライン配信併用

26	12 月 10 日 水都東京未来会議での情報提供	東京湾の現状と可能性～人と海のつながりの再生を目指して～と題して、東京湾再生のための行動計画、体制、実施内容を紹介	水都東京・未来会議 古川 PT 長	日本水フォーラム、オンライン配信併用
27	1 月 29 日 東京湾環境一斉調査ワークショップ主催、参加	東京湾環境一斉調査のとりまとめに向けて、結果を共有し、指標の統合化について議論した	東京湾再生推進会議、東京湾再生官民連携フォーラム 古川 PT 長	オンライン会議
28	2 月 11 日 里海博 2024 での講演	すごい！東京湾の再発見　By ハゼ博士と題して、東京湾の成り立ち、環境について解説	たてやま・海辺の鑑定団 古川 PT 長	イオンタウン館山コミュニティホール
29	2 月 18 日 江戸前勉強会 2023 特別編	GIJ2024 のセッションとして、東京湾の環境指標とその集約方法について議論	グリーンインフラジャパン（GIJ）、モニタリング PT 古川 PT 長	東京ビックサイト、オンライン配信併用
30	2 月 18 日 ブルーカーボン:海の森で未来をつくる 名古屋港水族館	「ブルーカーボンの目指すもの」について、ブルーカーボンの概念や効果、日本列島ブルーカーボンプロジェクトの活動などを紹介	木村 尚	名古屋港水族館
31	3 月 15 日 日経 Kids＋取材記事掲載	市民科学のすすめと題して、モニタリング PT で実施しているマハゼの調査を紹介・解説	日経 BP 古川 PT 長	2024 年 3 月 15 日発行、pp. 66-71.
32	3 月 17 日 ダーウィンが来た出演	マハゼの棲み処調査について解説し、東京湾再生の目標としての意義を説明	NHK 古川 PT 長	NHK 配信

33	3月31日 東京湾環境マップ発行	2023年度の東京湾環境一斉調査の結果をとりまとめたマップを作成し、関係者に配布した	東京湾再生推進会議、東京湾再生官民連携フォーラム、九都県市首脳会議、湾岸自治体環境保全会議	Vol.18

東京湾再生行動計画（第三期）の指標に関する提案

東京湾再生官民連携フォーラム

1. はじめに

平成 15 年に策定された「東京湾再生のための行動計画」（以下，行動計画（第一期））の取組を評価・統括し，平成 25 年 5 月に東京湾再生のための行動計画（第二期）（以下，行動計画（第二期））が策定され，令和 5 年 3 月に東京湾再生のための行動計画（第三期）（以下，行動計画（第三期））が策定された．

行動計画（第一期）では，指標を「底層の DO（溶存酸素量）」としていた．行動計画（第二期）の指標群は，より多くの多様な主体による東京湾再生に資する活動を更に促進できるよう，分かりやすい指標や手法を用い，あらゆる興味を東京湾に惹きつけられる指標となることが求められ，28 個の指標群を設定した．

行動計画（第三期）においては，東京湾再生推進会議は，行動計画（第二期）の全体目標を一部改変し下記の全体目標を新たに掲げ，その全体目標および行動計画（第二期）の期末評価の結果を踏まえて，54 項目の施策・プロジェクト（別表-1，2，3）を定め，事業の進捗を評価するとした．しかし，それらの施策・プロジェクトの成果として東京湾再生がどの程度達成されたのかを示す「指標」が示されていない．

東京湾再生官民連携フォーラムでは，東京湾再生の達成度を示す指標を提案する．これらの指標は，関連する施策・プロジェクトを統括的に評価するものであり，行動計画（第三期）が目指す東京湾再生の達成度を評価し易いように考慮したものである．

【全体目標】

快適に水遊びができ、「江戸前」をはじめ多くの生物が生息する、親しみやすく美しい豊かな「海」を多様な主体が協力しあうことで取り戻す。～流域 3000 万人の心を豊かにする「東京湾」の創出～

2. 提案指標

提案する指標は下表に示す 7 つの指標である．それぞれの指標は，行動計画（第三期）が定めた施策・プロジェクトと関連している．関連する施策・プロジェクト番号は，別表-1，2，3 に

示す行動計画（第三期）が定めた施策・プロジェクトの通し番号を指す.

指標	目標値又は目標	関連する施策・プロジェクトの通し番号
底層溶存酸素量（DO（底層））	増加傾向を示す	5, 39, 41, 42, 45, 47, 48, 50, 52
透明度	夏季において 1.5 m 以上の頻度が向上傾向を示す	39, 42, 47, 48, 50, 51, 52, 53
全窒素（TN）,全リン（TP）	赤潮や貧酸素が発生する海域において減少傾向を示す	5, 6, 7, 9, 11, 18, 39, 42, 47, 48, 50, 53
赤潮発生回数	減少傾向を示す	5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 18, 39, 40, 42, 43, 47, 48, 49, 50, 51, 53
底生生物からみた環境保全度評価	向上傾向を示す	25, 26, 27, 38, 47
下水道対策による負荷量の削減量	増加傾向を示す	1, 5, 11, 12, 13
水遊び・環境学習イベントの開催数, 参加者数, 開催場所数	増加傾向を示す	32, 37, 52

底層溶存酸素量（DO（底層））は，魚介類等の生息や藻場等、底層を利用する生物の生息・再生産に直接的に影響を与え，水域の環境を評価する上で重要な指標の一つである．東京湾では，令和 3 年 12 月に全国初となる底層溶存酸素量に係る水質環境基準の水域類型の指定が実施されている．第二期においても DO（底層）を指標としていたが，目標は達成できなかった．そこで，第三期においても引き続き指標とする.

透明度は，間接的に水域の富栄養化状態を示したり，海草・海藻の生育にとって重要であったりするだけでなく，人が海を見て強く印象を受ける指標の一つである．第二期において概ね目標は達成されていたが，透明度の目標を達成することは東京湾をより親しみやすい水域とすることに繋がることから，引き続き透明度を指標とする.

行動計画（第二期）で評価対象指標とした化学的酸素要求量（COD）は，1）陸域からの負荷に加えて植物プランクトン増殖による内部生産の寄与が非常に大きく表れること，2）そのために陸域での汚濁負荷削減対象として COD を指標にして対策を講じても湾内での効果が表れ難いということから，COD は東京湾の再生度合いを評価する上で必ずしも適当な指標とはみなされ

ないことから，行動計画（第三期）では TN，TP を指標として新規に採用することとした．東京湾では依然として，赤潮や貧酸素水塊，青潮，底質のヘドロ化等の富栄養化に起因する現象が発生している一方で，湾内における栄養塩の偏在化も指摘され始めている．この様な状況下において，東京湾全域において TN，TP の減少を目標とすることは現状に則しておらず，「赤潮や貧酸素が発生する海域」に評価対象範囲を限定して TN，TP を指標とする．

赤潮は，海面を変色させ，一般の人が抱く海の清浄感を失わせると共に，原因となるプランクトンが死んで海底に沈むと，分解して下層水の酸素を消費し，海水が成層する夏季にはそうして生じた底層の貧酸素水塊が他の生物の生息を困難にし，青潮発生の原因になる．また赤潮は，流入負荷が減少するとその発生頻度が減少するという単純な現象ではなく，海底に堆積した栄養塩が海中に回帰することも発生要因になっていることから，底質の改善効果も反映される複合的な現象であり，東京湾の再生度合いを評価する適切な指標の一つである．第二期においても赤潮発生回数を指標としていたが，目標は達成できなかった．そこで，第三期においても引き続き指標とする．

底生生物は，そのものの存在はもちろんのこと，餌生物として上位の魚類等の生息に大きく関わるものである．底生生物の生息環境の消失・劣化は，人間活動の結果であり，これを回復させるには，様々な施策の組み合わせが必要である．第二期においても底生生物からみた環境保全度評価を指標としていたが，目標は達成できなかった．そこで，第三期においても引き続き指標とする．

前述の様に，湾内における栄養塩の偏在化が指摘され始めている状況下において，下水道対策における負荷量の削減に向けては，第 9 次総量削減基本方針に基づき，生物多様性・生物生産性の視点においても望ましい水質を目指しつつ，窒素及びリンの環境基準の達成状況を維持しながら，生活排水対策に力点を置きつつ，COD は引き続き負荷量の削減を進めていくことが必要であることから，下水道対策による負荷量の削減量を指標とする．

水遊び・環境学習イベントは，再生に向けた取り組みを多くの人々に広める広報的・啓発的な役割を果たし，かつ水遊び・環境学習イベントそれ自体が，再生に向けた取り組みとしても重要な活動であることから，水遊び・環境学習イベントの開催数，参加者数，開催場所数を指標とする．

3. 提案に際して留意点・課題

今回の提案では，上記に示す 7 つの指標のみを提案したが，以下のような視点を持った指標の提案には至っていない．東京湾再生官民連携フォーラム内で議論を重ねていきたいと考えて

いる．東京湾再生行動推進会議においても，各施策・プロジェクトを通じて東京湾の環境再生を間断なく推進するため，事業の実施の評価とともに全体目標の達成を評価する指標を検討・提示し，事業の順応的な実施に資することを期待する．

① 行動計画（第二期）の全体目標から継続的な目標要素である「江戸前」を評価する指標

② 全体目標に新たに加わった目標要素の「流域 3000 万人の心を豊かにする『東京湾』の創出」を評価する指標

③ 行動計画（第三期）では，陸域対策に係る施策・プロジェクト，海域対策に係る施策・プロジェクト，モニタリングに係る施策・プロジェクトが定められているが，それらを繋ぐ総合的な指標

④ ブルーカーボンやマイクロプラスチックス等の新たな環境課題に対する指標

別表-1 東京湾再生推進会議が定めた陸域対策に係る施策・プロジェクト．番号は本提案の都合上付けた通し番号である．

目標要素	小目標	施策・プロジェクト	番号
豊かな水環境の実現	多様な生物が生息する「江戸前」の恵み豊かな海	高度処理の推進	1
		河川の浄化、浚渫の実施	2
		湿地や河口干潟再生等の自然再生	3
		流竹木等の海域流出の防止	4
	美しく、快適に水遊びのできる海	汚濁負荷量（COD、T－N、T－P）の総量削減	5
		総量削減計画の進捗状況の把握	6
		総量削減計画の周知と啓発	7
		汚水処理施設（下水道、農業集落排水施設、浄化槽）の整備推進	8
		合併処理浄化槽の設置促進	9
		東京湾流域市が行う合併処理浄化槽設置費補助への助成	10
		高度処理の推進	11
		合流式下水道の改善	12
		貯留、浸透施設の設置	13
		河川の浄化、浚渫の実施	14
		湿地や河口干潟再生等の自然再生	15
		森林保全活動	16

		浮遊ゴミ等の回収及び減プラスチックへのライフスタイル変換促進	17
		総量規制基準適用事業場の指導	18
	海辺に行きやすく、身近で安心できる海	湿地や河口干潟再生等の自然再生	19

別表-2　東京湾再生推進会議が定めた海域対策に係る施策・プロジェクト．番号は本提案の都合上付けた通し番号である．

目標要素	小目標	施策・プロジェクト	番号
豊かな水環境の実現	多様な生物が生息する、「江戸前」の恵み豊かな海	浚渫土砂等の高度利用の推進	20
		臨海部企業等が有する護岸の改修に対する技術的支援・助言	21
		ブルーカーボンの調査研究・技術開発の推進	22
		生物共生型港湾構造物の整備・改修	23
		浮遊ごみの回収	24
		干潟・浅場等の保全・再生・創出	25
		覆砂	26
		汚泥しゅんせつ	27
		深堀跡の埋め戻し	28
		漁業活動の活性化	29
	美しく、快適に水遊びのできる海	浮遊ごみの回収	30
		NPO や企業、漁業者等による海底ゴミの回収や海浜・干潟の清掃活動の推進	31
楽しく、親しみやすい東京湾の創出	楽しさあふれるイベントの開催	環境教育・体験活動等の推進	32
		「江戸前」をはじめとした県水産物の魚食普及推進	33
	海辺に行きやすく、身近で安心できる海	浮遊ごみの回収	34
活動の環（わ）の拡大	活動の環がつながり、目標の実現のために流域の多様な主体が協力しあう海	NPO や企業、漁業者等による海底ゴミの回収や海浜・干潟の清掃活動の推進	35
		NPO や企業、漁業者等による藻場等の造成の推進	36
		環境教育・体験活動等の推進	37

別表-3　東京湾再生推進会議が定めたモニタリングに係る施策・プロジェクト．番号は本提案の都合上付けた通し番号である．

目標要素	小目標	施策・プロジェクト	番号
豊かな水環境の実現	多様な生物が生息する、「江戸前」の恵み豊かな海	水生生物調査の実施	38
		水質等の観測（東京湾の水質の常時監視）	39
		東京湾の赤潮発生状況の把握	40
		東京湾の貧酸素水塊発生状況の発信	41
		水質等の観測（東京湾の水質の常時監視）	42
		東京湾の赤潮発生状況の監視	43
		三番瀬自然環境調査事業	44
		東京湾の海洋環境情報の発信	45
		栄養塩類に関する調査・研究の実施	46
	美しく、快適に水遊びのできる海	広域総合水質調査	47
		水質等の常時監視	48
		赤潮調査の実施	49
		水質等の観測（東京湾の水質の常時監視）	50
		東京湾の赤潮発生状況の監視	51
活動の環（わ）の拡大	活動の環がつながり、目標の実現のために流域の多様な主体が協力しあう海	東京湾環境一斉調査	52
		水質等の観測（東京湾の水質の常時監視）	53
		三番瀬自然環境調査事業	54

セブン-イレブン記念財団

※ 東京湾再生官民連携フォーラム事業は、一般財団法人セブン-イレブン記念財団からのご支援を受けて活動しています。

ご寄付への感謝

フォーラム活動に際し、赤城乳業株式会社をはじめとして、
組織・団体・個人の方からご寄附を頂きました。感謝、御礼申し上げます。

東京湾再生官民連携フォーラム　事務局
東京都港区虎ノ門 3-1-10 第２虎の門電気ビルディング ４Ｆ
（一般財団法人　みなと総合研究財団内）
電話 03-5408-8298

この事業は「国連生物多様性の 10 年日本委員会（ＵＮＤＢ－Ｊ）」が推奨する事業として認定を受けています

（現在は、UNDB-J の後継組織として「2030 生物多様性枠組実現日本会議」（J-GBF）を 2021 年 11 月に設立している）